(5) 文化・教育分科会(文化グループ)

【分科会として扱った主なテーマ】 生涯学習、学校教育、市民文化、国際交流、スポーツ

将来かわごえ像(3)	提言施策(9)	事 業(42)
地域の伝統を受け継ぎ、市 民が自ら新しい文化を創造・発 信するまち	文化施設:既存施設の再整備と 新設及びその運営について	既存施設の再整備事業(重要) 専門ホールの新設事業(重要) 多目的ホールの整備、拡充(重要) 川越を代表する作家の個人美術館設置 事業
	市民レベルでの地域運営推進、支援	市民による文化施設の管理・運営の促進 (重要) 市民による文化活動プログラムの作成、 運営(重要) 市民による「まちづくり専門家集団」の組 織化(重要) 都市計画案の作成段階における市民参加規定の充実と、根本では、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また
	外国籍市民への情報提供及び、 生活支援(重要)	おける市民参加規定の充実(重要) チューターボランティアネットワーク(重要) 図書館における外国語書籍の増加施策
	国際交流推進事業の継続と事業内容の充実(重要)	芸術文化活動を通じての国際交流事業 (重要) 国際交流推進のための人材養成事業 外国籍市職員の採用増加施策 国際交流支援事業(重要)
誰もが一生を通じて学習機 会を持ち、社会の一員として生 きがいのある心豊かな生活が できるまち	生涯学習推進体制の整備·充実 および生涯にわたる学習機会の充 実(重要)	生涯学習推進体制の整備·充実(重要) 情報ネットワークの基盤整備(重要) 生涯学習関連施設の整備·拡充(重要) シティカレッジの基本計画づくり
	生涯にわたるスポーツ・レクリ エーションの盛んな地域づくりの整 備と推進(重要)	健康維持の促進と体力増強の推進(重要) スポーツ・レクリエーションの整備(重要)
		スポーツ・レクリエーションの振興(重要) スポーツ・レクリエーション施設の建設及 び整備の充実(重要)
	ふれあいと活力に満ちた地域づく りの推進(重要)	コミュニティーの推進 コミュニティーの活動体系の整備 コミュニティー活動の活性化と支援 地域づくりの自主的参加活動の支援 コミュニティー施設の建設と整備充実

	T			
支え合い安心して子育て・教		子供の教育支援を行える地域環	Ш	幼児教育支援事業(重要)
育のできるまち		境の整備		異年齢集団の育成
				21世紀型寺子屋式学習塾構想支援事業
				多様な居場所づくり
				安全対策(重要)
				自然環境の整備・保全
		学校教育の充実・教育環境の整		学校施設の地域での活用(重要)
		備		地域人材の活用(重要)
				奨学金制度の充実
				中学校区域の自由化及び中高一貫教育
			П	の推進
				学力向上に寄与する図書館
			П	学校給食の見直し
				市立大学構想の充実
				教育研究所への市民参画
				ゆとり教育の見直し

文化・教育分科会(文化グループ)

総論提言シート 「地域の伝統を受け継ぎ、市民が自ら新しい文化を創 造・発信するまち」

(1)将来かわごえ像

地域の伝統を受け継ぎ、市民が自ら新しい文化を創造・ 発信するまち

理由

社会環境の変化や地域での活動施設の整備などにより、余暇時間を自分の生き方の模索や自己実現に向けて活用できる機会が増大してきている。一方、価値観の多様化、情報化、国際化、環境問題などに対応できる新たな地域の連帯が求められている。

このような社会構造のパラダイムシフトを背景に、自立的な市民層の台頭が見て取れる。しかしながら、市民自らが、まちづくりや対市民公益サービスの提供など地域ガバナンスの一端を担う状況は、わずかである。

「地方分権」と言う言葉の持つ心地良さはあるが、市民の自発的な相互扶助的社会意識や協調的なコミュニティー意識の存在がなく、財政的な理由で、一方的に公益的サービスを、市民の意向に関係なく民間にアウトソーシングすることは、過去の政治と市場の失敗を繰り返すだけのこととなる。

川越には豊かな自然環境と歴史に培われた伝統的な文化がある。そうした 地域の伝統文化や風土を受け継ぎながら、新しい文化の創出と発信を目指し、 市民が自ら考え行動する「まち」の実現が求められている。

市民自らが、持続可能な地域社会の確立を目指し、コストをかけない「まち」の運営に取り組むことは、希薄化傾向にあるコミュニティーの回復なくしては実現不可能である。文化に対する学習機会の創出や、文化活動が活発に行われることは、文化がコミュニケーションの媒体として機能し、希薄化傾向にあるコミュニティーの回復・再生を目指す上でも有効である。

さらに、そのような自立的な市民や地域のまちづくり協議会が発足し都市計画案の提案ができるように支援が受けられたり、策定・決定手続きにおいても市民参加が得られるよう条例により規定することが求められている。

(2)かわごえの現状

良い所

伝統文化を大事にしている。

- ・伝統的建造物群保存地区の都市計画決定し、国の重要伝統的建造物群 保存地区の選定を受けた。
- ・国指定史跡・河越館跡の史跡公園としての整備着手
- ・川越祭りなどの伝統ある祭りや、行事、伝承芸能などを保存している。

市民の文化活動支援の場の整備がされつつある。

- ・美術館の新設
- ・市民会館、やまぶき会館、西文化会館、南文化会館などの整備
- ・東部、北部、大東地区における、地域ふれあいセンター構想
- ・国際交流センターを設けるなど、国外の友好都市、姉妹都市との交流 が行われている。

行政と市民グループとの協働の場がある。

豊かな自然に恵まれている。

×悪い所

施策立案、策定、計画決定などのプロセスにおいて、市民との協働が十分であるとは言えない。何を行うかではなく、どうやって行うかが問題であり、そのプロセスの様々な場面に市民が関わって行くことが重要である。第2次川越市総合計画・後期基本計画においても、「市民と行政とが、協働するまちを目指す」と言われてはいるものの、市民の参画が担保されていない。

伝統的建造物群保存地区の区域拡大について速やかではない。

民有地にある史跡調査が不十分である。

現状施設の設備的不備。

施設利用の不公平感がある。

情報の公開、共有において十分であるとは言えない。

ユビキタスな情報拠点がない。

行政が主催する文化活動において、活動状況などの事後報告が十分であるとは言えない。広報活動において、情報が一方通行である。

都市部と農村部との連携が不十分である。

全市的には、自然に恵まれていると言えるが、都市部の緑地が少なく、 街に潤いが感じられない。

国際交流事業の情報公開と市民レベルでの交流事業への支援不足が感じられる。

川越市は入間地区の中核であるので、広域的なグランドデザインを考える「地域デザインセンター」があってもいいのではないだろうか。

(3)将来かわごえ像を実現するための知恵(施策)

文化施設:既存施設の再整備と新設及びその運営について

市民レベルでの地域運営推進、支援

外国籍市民への情報提供及び生活支援事業(重要)

国際交流推進事業の継続と事業内容の充実(重要)

< キーワード >

アフォーダンスの良いまちづくり

ユビキタス

ITの活用

ユニバーサル・デザイン

パラダイムシフト

ソーシャル・ガバナンス

持続可能な地域社会づくりを目指した取り組み

コミュニティーの回復

地域のネットワーク

文化財的な建築や人材など、まちの資産の有意義な活用

都市と農村の連携と共存

ボランティア・NPO・NGO などの果たす役割

コストをかけない「まち」の運営

民・学・官の協働

市民参加のまちづくり条例

Ⅰ 各論提言シート

	l Hi	開捉百ン一ト		
	言 策名		: 既存施設の再整備との運営について 分科会名 文化・教育会	
理	由	設の設備内容 い芸術文化を 誰もが、い	生活環境の変化、価値観の多様化等により、関や規模は、市民が行いたい文化活動や、より関享受したい環境としては不十分である。 つでも、どこでも楽しめる機会が持てるハー 環境整備が必要。	質の高
現	状	伴う既存施設	活動への欲求は年々高まりを見せているが、そは、施設数も少なく、施設の老朽化や設備内を 十分な活動をサポート出来ているとは言いにく	容の不
			具体的な提言の内容	
No		事業名	詳細(実施主体)	実施 時期
1		施設の再整備 (重要)	様々な規模の既存施設の見直しを行い、地域における市民の文化活動を支援できるものから、様々な質の高い芸術文化が享受できる施設まで、幅広い施設の整備を行う。現在、文化施設となっている施設だけでなく、未利用の蔵や空き店舗を市が借り上げて整備し、「文化活動拠点」として街中に点在させる。(市、市民、企業)	短期
2		ホールの新設 〔重要〕	様々な音楽や舞台芸術など、より質の高い芸術文化を提供できる施設の新設に向け、広域都市圏の各市町とお互いに連携・協力し、ひとつの都市圏としての発展を目指しながら、協議、調査を行う。(市、市民、企業)	短期中期
3		りホ ー ル の 整 な充(重要)	市民の多様な文化活動を支援するため、用途を限定しない多目的ホールの整備と、多様な用途に対応できる付属設備を充実させる。	中期
4		を代表する作 固人美術館設 É	市立美術館に収蔵されている川越ゆかりの作家の個人美術館を未利用の蔵や空き店舗を市が借り上げて整備し、街中に点在させ、「まち」を散策、回遊するルートを創る。	中期

□ 各論提言シート

	<u> </u>	開焼音シート		1		
	言 策名	市民レベ 支援	ルでの地域運営推進、	分科会名	文化・教育会 (文化グル・	
理	曲		流れのなか、市民と行政 揮しつつ、市民の選択と られている。			
, 現	多様化する市民ニーズに、行政だけでは制度的に対応しに 現 状 ものがある。市民と行政が一体となり、多様化する市民の意識 的確に把握し市民の活力を活かす工夫が求められている。					
			具体的な提言の内容			
No		事業名	詳細(実療	施主体)		実施 時期
1		こよる文化施理・運営の促動要)	より身近で、まままで、まり身近で、ボラ目指し、ボラコンはで、ボラコンはで、ボラコンはでは、アースを関連をはいいでは、関連では、関連では、大きの情報をはいいでは、大きの情報をはいいでは、大きの情報をはいいでは、大きないが、はいいは、大きないが、はいきないが、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、は	ディカー で き か け を み は か も の き れ に い も の も の も の も の も の も の も の も の も り も り	関わり出 りが出 ・ワーす ・ と り り り り り り る そ と り る そ る そ る そ る を と り る る を る る を る る を る る を る を る る る る る	短期
2	動プロ	こよる文化活 コグラムの作 望営(重要)	「まち」に元気を与え ツは、子どもの頃からる あることが重要である。 文化活動や地域スポ ている市民や市民団体 ら学べる機会を創出す い芸術文化やスポーツ る機会を創出し、運営 民団体)	それらに接る。 ピーツの振興 と連携し、I ると共に、。	する環境に 環境に まい はい	中期

3	市民による「まちづくり専門家集団」の組織化(重要)	「まちづくり」には、様々な分野の専門的な知識と経験が必要とされる。 国際化もふまえ、多様な市民のニーズに対応し、調整を図りながら、より良いまちづくりの実現に向け、行政のまちづくり関連部門と横断的に連携しながら、市民の目線で活動できる組織づくりを図る。(市、市民、市民団体)	短期中期
4	都段をと定って 都時におったののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	市民との協働により、まちづくり条例を定め、市民による都市計画提案の支援、市	短期

||| 各論提言シート

	言 策名	外国籍市 活支援事業	民への情報提供及び生 (重要)	分科会名	文化・教育な	
理	由	のあるものと	化は、市民生活や地域を なって来た。今後さらに 意識を共有して行く事を	こ、相互理解	解を深め、♯	
現	状	ることが多く	国際化が進み、外国籍市 なった現在、外国籍市日 ニケーションがうまく図	民にとって、	必ずしも返	丘隣住
			具体的な提言の内容			
No		事業名	詳細(実施	施主体)		実施 時期
1		- ターボラン アネットワー i要)	外国籍市民の国籍は、 国、朝鮮を中心に約6(っている。より広くチェ を組織化し、外国籍市民 に努める。(市、市民、)か国と広貸 ューターボラ 民へのサー b	節囲にわた ランティア ごスの向上	短期
2		官における外国 語の増加施策	公共図書館における 業。多言語化事業。(市		番の充実事	短期

Ⅳ 各論提言シート

		調焼百ン一ト				
	言 策名	国際交流 内容の充実	推進事業の継続と事業	分科会名	文化・教育を	
理	国際化が進む地域社会に対応するため、国際感覚をやしない、					•
現	状	様々な状況が	国際化が進んでいるとは あることは、知られてい 差が生じていることは、	いない。また		
			具体的な提言の内容			
No		事業名	詳細(実施	施主体)		実施 時期
1		文化活動を通 D 国際交流事 i要)	芸術文化を通じ、感! 国際感覚を養い、相互! ーチストインレジデン 市民、市民団体)	理解を深める	るため、ア	短期
2		を流推進のた 、材養成事業	海外の姉妹都市と市 職員の交換留学制度を 際感覚を養う。(市、市	設け、市民か		短期中期
3	外国第用增加	普市職員の採]施策	社会環境の変化による現状を踏まえ、国際意られている。外国籍職 相互理解を推進する。	意識を高める	る必要に迫	短期
4	国際多	交流支援事業	国際交流事業の一環と 的な性格を持った活動 援を行う。		•	短期

文化・教育分科会(生涯学習グループ)

総論提言シート 「誰もが一生を通じて学習機会を持ち、社会の一員と して生きがいのある心豊かな生活ができるまち」

(1)将来かわごえ像

誰もが一生を通じて学習機会を持ち、社会の一員として 生きがいのある心豊かな生活ができるまち

理由

生涯学習の考え方は、幼児期から高齢期まで一貫とするものである。現状では高齢者を対象とした生涯学習の取り組みと参加は高まりつつある。一方、それ以外の年齢層に対する取り組みと参加は少ない。子供の頃から多くのことに興味と体験の機会を持たせて生きがい形成を進めるべきである。

趣味や文化を学ぶと共に、個人の資質の向上を図り、一市民として社会に果たさなければならない知識を学ぶための環境整備が重要となっている。

(2)かわごえの現状

良い所

- ・ 行政が主導となって生涯学習事業を企画するだけではなく、「ふるさと塾」 のような市民自らが講座を企画運営するという気運も高まりつつある。
- ・地域においては、個人または小規模な人々の交流の中から、さまざまな 学習活動が生まれている。
- ・歴史や文化を醸し出す、蔵の町並みや郷土芸能など、歴史文化的に価値 のあるものが身近なところにあるため、子供の頃から歴史文化に触れら れる環境が備わっている。
- ・市民は生涯学習に興味を示し、学習の場への参加意識が高まっていると同時に、そのための数多くの様々な講座や研修会が開催され、特に高齢者(女性)の参加意識が高く、自らの生きがいづくりにつながっている。 更にそれらに対する参加意識も高まってきている。
- ・生涯学習施設の運営には、担当職員が多くの施設利用者を確保するため、 利用者との相談会等を行い、ソフト面を重視したふれあい館を導き出し ている。

×悪い所

- ・ 川越に限らず、世代を超えた交流が不足している。
- ・個人的な生活様式が定着しているため、集団的な活動が衰退しつつある。
- ・ 平成 1 5 年度の市の施設事業を県平均および他市と比較した結果、コミュニティー施設とスポーツ施設(生涯学習の場)は標準値以下である。

このことは地域人間形成をより一層衰退させる要因となっている。

- ・市は生涯学習事業が地域を根源とした人づくりに重要な事業であることの認識を欠いている。このことが施設づくりを大きく後退させている。また、各地域においては学習を学ぶ施設が貧困であり、また、多種の学習等の日程が重なり、十分な施設利用が図れていない。
- ・若年層や子育てをしている親達は、それぞれ目的を持った学習に多忙な ため、地域の集団的学習活動に参加することが希薄となっている。
- ・市で開催する講座等は一般教養や趣味の範ちゅうに属するものが多い。 また、初級程度のものが多く、学習の継続や発展につながる系統付けた 講座が少ない。
- ・ 学習の成果を発表する場や、それを活用する機会が地域で積極的に行われていない。また活用させる仕組みや体制づくりが不十分である。
- ・学習に関する事業については、各事業ごとに窓口が異なっており、生涯 学習事業全体の位置付けや役割等の検討が行われていない。このことは 情報提供が不透明になり、円滑な情報提供が図られていないことで、現 状を重要視した施策事業とはなっていない。
- ・世代や性別を問わず体力の減退は進み、かつ運動能力も低下の一途をた どり、市民の健康を脅かす状況となっている。

(3)将来かわごえ像を実現するための知恵(施策)

生涯学習推進体制の整備・充実および生涯にわたる学習機会の充実(重要)

生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの盛んな地域づくりの整備と推進(重要)

ふれあいと活力に満ちた地域づくりの推進(重要)

Ⅰ 各論提言シート

2	情報ネットワークの基盤整備(重要)	施設の予約・情報のオンライン化、行政情報サービス中核管理機能の整備、行政情報貸出プログラムの整備、行政・学校・地域とのネットワークの基盤整備 (市)	中期
3	生涯学習関連施設 の整備・拡充(重要)	既存施設の見直し事業、防音工事等の補修 事業、市民による委託管理の推進、公共施設 の一元管理と利用料の低額設定の推進、地域 学校開放教室の新設、既成自治集会所の改善 整備、民間施設の活用助成、既成公共施設の 利用種目見直し事業、学校施設の開放時間帯 の拡大、学校休業日の特殊教室の開放、民間 施設の活用、公共施設の貸出見直し事業(市、 市民、企業)	短期
		生涯学習センターの建設、既存施設への生涯学習フロアーの設置、地域型図書館の新設、地域公民館の整備(市、企業)	長期
4	シティカレッジの 基本計画づくり	基本実施計画づくり、勉強の場の推進、生涯教育・生涯学習の拠点づくりの促進、学習アドバイザーの育成指導(市)<継続事業>	短期

□ 各論提言シート

_					
	言 策名		たるスポーツ・レクリ の盛んな地域づくりの 分科会名 (重要) 文化・教育		
理	由	ポーツ・レク くりの促進を それには身 軽にスポーツ	が、心身共に豊かな生活を迎えるためには、 リエーションを通じて、「健康・生きがい・何 図ることが大切である。 近な場所で、いつでも、どこでも、いつまで ・レクリエーションに親しむ場が持てること 推進が重要である。	中間」づ	
現	状	物の豊かさを迎えている中で、人々の価値観や行動は多岐ぎとなり、スポーツに取り組む姿勢は集団から個人に移行していまた、身近な場所で大勢の人々が集まりスポーツ・レクリエーョンを楽しむ施設整備も遅滞している。 楽しみながら体を動かし運動する機会の充実により、体力や動能力の増進・維持を図ることが必要である。			
			具体的な提言の内容		
No		事業名	詳細(実施主体)		
1		推持の促進と 9進の推進(重	スポーツフェスタ開設(市、企業)、地域スポーツ案内ニュースの発行(市)、再・位力テストの推進(市)、再・地域(自治会)単位の体操運動の促進(市民、市)、健康スポーツ教室(展示コーナー)開設と促進(市企業)、健康スポーツ出張教室の推進(市)地域体育協力員の向上と活用の充実(市、市民)	は、短期、	
		- ツ・レクリ	近隣スポーツレクリエーションの施設式援(市、市民)、地域(自治会)単位毎の原外公園の整備(市)、民間スポーツレクリコーション施設の活用支援(市)	。 ■ 中期	
2	▲重要	ションの整備	スポーツ遊戯施設の建設計画(市、企業) 「水と緑と遊びのロード入間川」の整備計画 (市、企業)	•	
			-		

	スポーツ・レクリ	スポーツ振興実施計画の策定(市、市民)スポーツ情報提供サービスの充実(市、市民)、ニュースポーツの普及と指導の充実(市)スポーツ種目の講座講習会の推進(市、市民、企業)	短期
3	エーションの振興(重要)	スポーツリーダー養成の推進(市、市民組織)市民スポーツ大会開催の拡充(市、市民)	短期 中期
		スポーツ指導者の育成と指導の充実(市)、体育協会の強化とレクリエーション協会の独立の推進(市、市民組織)	中期
4	ーション施設の建	学校開放の施設整備の改善(市)[実施時期は短期] 水上公園(温水プールへの)改善事業促進 (市)地域毎スポーツ公園の設置(市)[実 施時期は長期も含む]	中期
	設及び整備の充実(重要)	地域毎スポーツセンターの建設計画(市)、スポーツ学習センターの建設(市、企業)、民間スポーツセンター活用計画(市)、入間川ウォーター野外スポーツ公園新設(市、県、企業)	長期

||| 各論提言シート

	言 策名	ふれあい くりの推進	と活力に満ちた地域づ (重要)	分科会名	文化・教育分 (生涯学習グ)	
理	由	また核家族化 る。それは、 う地域社会の: 魅力あるま で生活を営む	は、一人ひとりの生活様の進行により地域との人間形成を大きく変え、生活の本質をも失う営みちを形成するには、地域し人ひとりが共に助ける 導きだせるのである。	つながり 人間本来 ・となって 域づくりが	が希薄になっ の共存・共気 いる。 根源であり、	っていだとい地域
現	状	程遠いまちと 族的付き合い れあいという る。 現在、人々	かなまちに住み続けたいなっている。かつて見ら、また井戸端会議等」の人間形成の基盤そのものふれあいや人間形成の また井戸端会議等」の 人間形成の基盤そのもの。 のふれあいや人間形成の られるが、市民一人ひと	られた「向) 共存・共 のが失わ) 重要性を	こう三軒両隔 栄の助け合い れていると思 再生させるだ	群の家 1やふ 思われ こめの
			具体的な提言の内容			
No		事業名	詳細(実施	施主体)		実施時期
1	コ推進	ュニティーの	学校・地域・家庭の合 学校・地域・家庭のの と 大間・より、 大間・より、 大田では、 、 大田では、 、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、 大田では、	交学育進、習高流、・出国住生とのは関係との	での子供ので家庭)のいる環境整備、この人との交流をはいる。	短期

2	コミュニティーの活動体系の整備	総合行政情報システムの確立、職人奉仕者 バンクの整備、コミュニティー活動の地域別 実態調査、地域コミュニティー活動のホーム ページづくり、地域コミュニティー普及指導 者の育成整備、出張ボランティアの設立、地 域コミュニティー活動のネットワークづく り、意識啓発活動指導者の配備、自主的活動 の支援形態づくり、情報技術の整備と運用の 確立 (市、市民)	短期
3	コミュニティー活動の活性化と支援	子供と大人のふれあい事業、地域交流学習の推進、専門職奉仕者や地元ボランティアはよる学校体験科目への編入と養成、街・地域の交流イベントの推進、各地域のまりや運動会への支援と促進、全市民参加の支援との推進、地域リーダー養成の日からのリーダー養成の環境を成、子供の頃からのリーダー養成の環境を備、地域毎種目別指導者の名簿整備、自主がるための定期的な学習活動の普及、発表の場としての市民文化祭や地域文化祭の開催と支援 (市、市民、学校、民間団体)	短期
4	地域づくりの自主的参加活動の支援	地域ふれあい促進事業の支援活動、まちづくりの参画の地区計画の促進、地域の目玉創作キャンペーンの推進、地域集団行事の支援活動、文化関係者等の登録制度の促進、地域活動ボランティアの育成支援(市、市民、民間団体)	短期

		地域多目的ホールの建設及び施設整備、既	
		存施設の活用方法の整備、既存施設の改善改	
		修促進、地域コミュニティー施設の代替施設	
		づくり、民間ビルや空き家、空き地の借用促	加力
		進、民間コミュニティー施設の借用促進、民	短期 長期
		間コミュニティー施設の利用助成の促進、民	支 期
		間居住ビル建設時の行政負担の公共事業付	
		随促進事業、既存公共施設位置コミュニティ	
		ー施設の増設(市、企業)	
5	コミュニティー施設	生活道の改善整備及びコミュニティー建	
3	った。	設計画、狭小道路の一部ポケットパーク化、	
		狭小道路にポケットパーク街路樹の設置、民	
		間ビル建設時に出入り口廻りに広場の設置	
		の促進、空き地・空き家の率先購入促進、遊	
		歩道(コミュニティー道路)の促進(散歩道	長期
		計画)、狭小道路隅切り事業の促進、自治会	
		毎の公園確保、民間休耕地の仮農園推進事	
		業、大規模遊園地建設計画、川越市こども動	
		物園建設計画、コミュニティー会場の建設計	
		画(市、企業)	

文化・教育分科会(学校教育グループ)

総論提言シート 「支え合い安心して子育て・教育のできるまち」

(1)将来かわごえ像 支え合い安心して子育て・教育のできるまち

理由

近年、少子化・核家族化はさらに進み、共働きの家庭は増加し、地域との 関係はますます希薄になっている。

人間形成の基本的段階である幼児・低学年の教育こそ最重要課題であると 考える。地域で子育てをするという基本理念のもと、近隣の住民が共に支え 合い安心して子育て・教育のできるまちこそ、これからの自治体に求められ るまちづくりの姿であると考える。

(2)かわごえの現状

良い所

・いろんな施策をやろうとする姿勢には一定の評価する。

×悪い所

- ・縦割り行政の伴う、関連部署との連携が十分に図られていない。
- ・施策の優先順位にも問題がある。もっと教育的視点が必要である。
- ・子育てが福祉の色合いに染まりすぎている。

(3)将来かわごえ像を実現するための知恵(施策)

子供の教育支援を行える地域環境の整備 学校教育の充実・教育環境の整備

Ⅰ 各論提言シート

	言		育支援を行える地域環 分科会名 文化・教育分		
施策名		境の整備	(学校教育グ	ルーノ)	
		少子化等の	諸課題を抱える現在の社会状況を考える時、。	まちづ	
	由	くりには、安	心して子育てができる環境の整備が、緊急で፤	重要な	
		政策である。			
理		人間形成の	基本的段階である幼児教育こそ最重要課題でる	あると	
		考える。希薄	になっている地域との係わりを深め、地域で 5	子育て	
		を支える環境	の整備こそ喫緊の課題であると考える。		
		* ここで言う	う地域とは自治会規模の近隣をさす。		
		現状では、	地域で支え合い幼児教育・子育てをしていくカ	こめの	
	al b	施策は方針だ	けにとどまっている。		
現	状	ハード面・	ソフト面共に不十分であり、具体的な整備・ラ	支援が	
		必要である。			
			具体的な提言の内容		
N		声 兴 <i>口</i>	詳細(実施主体)		
No		事業名			
			・子育て支援サポーター制度		
			* 自治会規模での対応を図り、子育て相談		
			員(子育て経験者)等を置く		
			・ 子育てひろばの設置(屋内外)		
			*自治会館や空き教室を利用		
	**************************************	* わんぱく広場的な公園の整備			
1		教育支援事業	・保育園入園待機児の即時解消を図る	短期	
	(重要	2)	・育児研修事業	, ,,,,	
			* 新米パパ・ママや中高生が対象		
			・ 幼保一元化(一体化)の早期実現		
			・幼保小の連携促進		
			* 子供に関する情報の共有化を図る		
			・一時預かり保育の充実 (市/市民)		
		A # [] a * - 1		<u></u>	
2	異年的	食集団の育成	・学童保育室を地域に開放する (市)	短期	

3	2 1 世紀型寺子屋	・ 小学生を対象とし、基礎学力(読み・書		
		き・計算)習得を目的とする		
		・塾は自治会単位で組織し、中高齢者の地		
	式学習塾構想支援	域人材を講師として活用する	短期	
3	事業	・日本の伝統文化を次世代に伝え、人間的	应 别	
	尹未	成長を手助けする講座も進める		
		・事業展開は、市の支援を得てNPO主体		
		の展開が望ましい (市/市民/NPO)		
		・ 子供たちが自由に活動できるスペースを		
4		確保すると共に、必要に応じて支援・指	短期	
	多様な居場所づくり	導する人材を確保し、健全育成を図る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
7	夕像は西場所フトリ	(空き地・スタジオ・スポーツのコート)	' 中期	
		・ 学校や公民館などを子供たちの活動施設	, T. X /J	
		として確保する (市)		
	安全対策(重要) 車の通行の制限・街燈の整備等)	・ 通学路の安全を確保する(歩道の確保・		
5		車の通行の制限・街燈の整備等)	短期	
		・地域住民によるパトロールの実施 (市)		
6		子供たちの豊かな感性を育むためにも、		
	自然環境の整備・保全	生態系を身近に感じられる環境を整備・	短期	
	保全する	保全する	\立 \	
		自然環境再生事業を実施する(市)		

□ 各論提言シート

	言 策名	学 校 教 育 整 備	の充実・教育環境の	分科会名	文化・教育分 (学校教育グ	
理	由	とは出来ない も地域と共に 進し、ひいて がる。 未来を担う	充実には学校が地域とき。地域で子育てをする。今まで以上に近い関係しは子供たち一人ひとりく 子供たちの健やかな成り場でより一層のサポート	という基本 こなること へのきめ細 長と、自主	理念のもと、が、学校改造やかな対応し	学校 革を促 こつな
現	・学校は地域と共に歩む視点が十分ではないのではないか。 現 状 ・地域には学校教育に活用できる有能な人材が多くいる。 ・先進市と比較して市独自の改革が遅れている様に思われる。) _o
			具体的な提言の内容			
No		事業名	詳細(実)	施主体)		実施 時期
1		施設の地域で 用(重要)	・空き教室を地域市民・休日の体育施設・図		画設の開放 (市/市民)	短期
2	2 地域人材の活用(重要)		・教育ボランの資本を受ける。 * 学生の教が関係を受ける。 * 学生の教がでいる。 * 学にのないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	設テテ直削機へ対(置ィィし及能のふ市とび化支タ市人を援り市の地選図ののは、	対登録 活用実 成を見 を見 変更 変変 変変 で 変変 が で の 直 が の 直 の 直 の 直 の に の に の に の に の に の に の に	短期
3	奨学金	会制度の充実	・現在の奨学金制度を持まる。		り利用しや (市)	短期

4	中学校学区域の自 由化及び中高一貫 教育の推進	・部活動等の各学校の特色を活かす為、学区 を撤廃し自由に学校を選べる様にする ・市立高校の中高一貫化を推進する (市)	短期
5	市立大学構想の充実	・審議機関への市民参画と市民への情報公開・同事業に対する市の体制強化 (市)	短期
6	学力向上に寄与する図書館	・全市の読書活動に市立図書館及び地域の 支援と連携強化が必須 * 双方の図書データをオンラインで結ぶ (市/市民)	短期
7	学校給食の見直し	・地産地消の促進を図る ・自校式の採用(民間委託を含め提案) ・食育を進める (市/市民)	中期
8	教育研究所への市 民参画	・積極的に研究委員会等への市民参画を進め、研究調査内容の情報公開に努める(市)	短期
9	教育委員会の改革	・教育委員会の機能化を図る事で教育の活性 化につなげる (市長)	短期
10	ゆとり教育の見直し	・土曜日の利用 ・総合学習の時間の充実を図る * 自ら考えさせる授業の実施 * ボランティア活動を授業へ取り入れる ・少人数学級制をさらに進める (学年による段階的な人数編成) ・教師の「ゆとり」づくりを図る (市/市民)	短期

- * 7 でいう食育とは、環境問題や社会システムなど食べ物を取り巻く環境、食事のマナーなどを含め総合的に教え、世界の食料事情や農薬の問題、肥満やアレルギー、地産地消などの問題を関連づけて考えられるような教育。
- * 10でいうゆとり教育の見直しには、「ゆとり」の名の下に授業数が減り、そのことが学力低下の一因にもなっている現状認識がある。さらに、総合学習の時間がカルチャーセンター化し、児童生徒にとって単なる休憩時間のようになっていることが多いとの認識から見直しが必要と考える。